

市政記者各位

政令指定都市薬剤師会統一

薬物乱用防止キャンペーンを実施します

福岡県内の令和6年の大麻事犯検挙者数は466人と、過去最多であった令和5年と同水準でした。このうち30歳未満の若年層が約8割を占めており、深刻な社会問題となっています。

「依存性がないから大丈夫。」「大麻は害がない。」等の間違った知識による薬物乱用は、自身の一生と周りの人間関係をすべて破壊してしまいます。一人ひとりが正しい知識を持って立ち向かうことで、薬物問題の撲滅につながります。

全国の政令指定都市において、毎年同日に薬物乱用防止街頭キャンペーンが実施されます。今年は、JR博多駅博多口にて、覚醒剤、大麻などの乱用防止及び市販薬のオーバードーズの防止について呼びかけますので、広くお知らせくださいますようお願いいたします。

1 日時・場所

令和7年7月19日（土）16：30～17：30（予定数の配布により終了）
JR博多駅博多口（福岡市博多区博多駅中央街）

2 主催

一般社団法人福岡市薬剤師会

3 共催

福岡市

4 活動内容

薬物乱用防止啓発資材の配布

薬物乱用は

「ダメ。ゼッタイ。」

問い合わせ先

○福岡市薬剤師会事務局

電話：714-4416

担当：井手

○保健医療局保健所地域衛生部医薬務・衛生推進課

電話：791-7263（内線 199-922）

担当：肥前、是松